

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
AM12Z304	早期体験実習(Introduction to Clinical Practice)						対面										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	1	医学部医学科	通年		氏名 井原健二(医) E-mail k-ihara@oita-u.ac.jp 内線 5834											
授業の概要	医学教育モデルコアカリキュラム(A~G)の最初の項目「A医師として求められる基本的な資質・能力」を十分認識し、医師になるために必要な今後の学修を行う意欲・意義を認識するための早期医療体験実習である。1.大分大学医学部附属病院早期体験実習(3日間) 大学病院での最先端医療見学し、チーム医療の中での医師の役割を認識する。具体的には29診療科(22編成)の1つを体験実習する。2.学外病院・施設での介護等体験実習(2泊3日):病気や障がいからの回復・社会復帰をサポートする大分県内の中核病院で多職種連携のチーム医療を体験する。別府発達医療センター、国立病院機構西別府病院、別府リハビリテーションセンター、井野辺病院のうち1ヶ所で体験実習する。なお、新型コロナ等の感染拡大状況により体験実習の内容を変更することがある。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	A-1-1) 医の倫理と生命倫理																
目標2	A-1-2) 患者中心の視点																
目標3	A-2-1) 課題探求・解決能力																
目標4	A-2-2) 学修の在り方																
目標5	A-4-1) コミュニケーション																
目標6	A-4-2) 患者と医師の関係																
目標7	A-5-1) 患者中心のチーム医療																
目標8	A-6-1) 安全性の確保																
目標9	A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防																
目標10	A-6-3) 医療従事者の健康と安全																
授業の内容																	
1	大分大学医学部附属病院早期体験実習(3日間)																
2	学外病院・施設での介護等体験実習(2泊3日)																
3	体験発表会																
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	今後の生涯学修を行うスタートラインに立った新入生の「知識の定着・確認」「意見の表現・交換」の活動を促進する実習と考えるが、実際の現場実習であるので、少ないながら「応用志向」「知識の活用・創造」も実践できる。				工夫	その他の	大学病院では、屋根瓦方式の教育をとり、指導医・上級医だけでなく、研修医、医学部上級生からの指導も受け、双方の教育・学修効果を上げる。学外病院でも看護チームメンバーとして活動し、マンツーマンでの指導が行われている。									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	派遣される大学病院診療科および学外病院・施設でどのような医療が行われているかを事前に把握するために、HP等を参照し事前学修をおこなう事。 http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf を参照する事。															
	事後学修	実習終了後の新入生が経験した実習体験を共有し、教育・学修効果を上げるために、体験発表会を実施する。															
教科書	医学教育モデルコアカリキュラム(令和4年度改訂版) https://www.mext.go.jp/content/20221226-mtx_igaku-000026778_00001.pdf																
参考書	1.医政発第0726005号「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について」 http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf 2.大分大学医学部附属病院外来案内および大分大学医学部附属病院HP 3.別府発達医療センター、国立病院機構西別府病院、別府リハビリテーションセンター、井野辺病院のHP																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	実習レポート	30%															
	体験発表会の発表内容	20%															
	実習先病院の評価	50%															
注意事項	大分大学医学部学生という自覚の下に(1)各施設の業務の支障とならない様に指示に従う(2)実習中の患者・入所者の情報を口外しない(守秘義務)(3)時間厳守(5分前集合)(4)実習時は仲間同士の私語及び不用意な発言は慎む(5)新型コロナウイルス等の感染状況により実施内容が変更される場合がある																
備考	事前に配布する、医師法第17条に関する文書「医政発第0726005号」を良く読み理解しておくこと。 http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf																
リンク	医師法第17条に関する文書「医政発第0726005号」 URL http://www.med.oita-u.ac.jp/meded/0726005.pdf																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	全ての教員は、医師・看護師、薬剤師、臨床工学士、理学・作業・言語療法士などの国家資格及びそれに準ずる資格を持ち医療現場での実務者である。
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	全ての指導担当者は、医師・看護師、薬剤師、臨床工学士、理学・作業・言語療法士などの国家資格及びそれに準ずる資格を持ち医療現場での実務者である。
実務経験を いかした教 育内容	教科書に書かれている内容だけでなく、実際の現場で得られる真理があることを認識できる良い機会と考える。